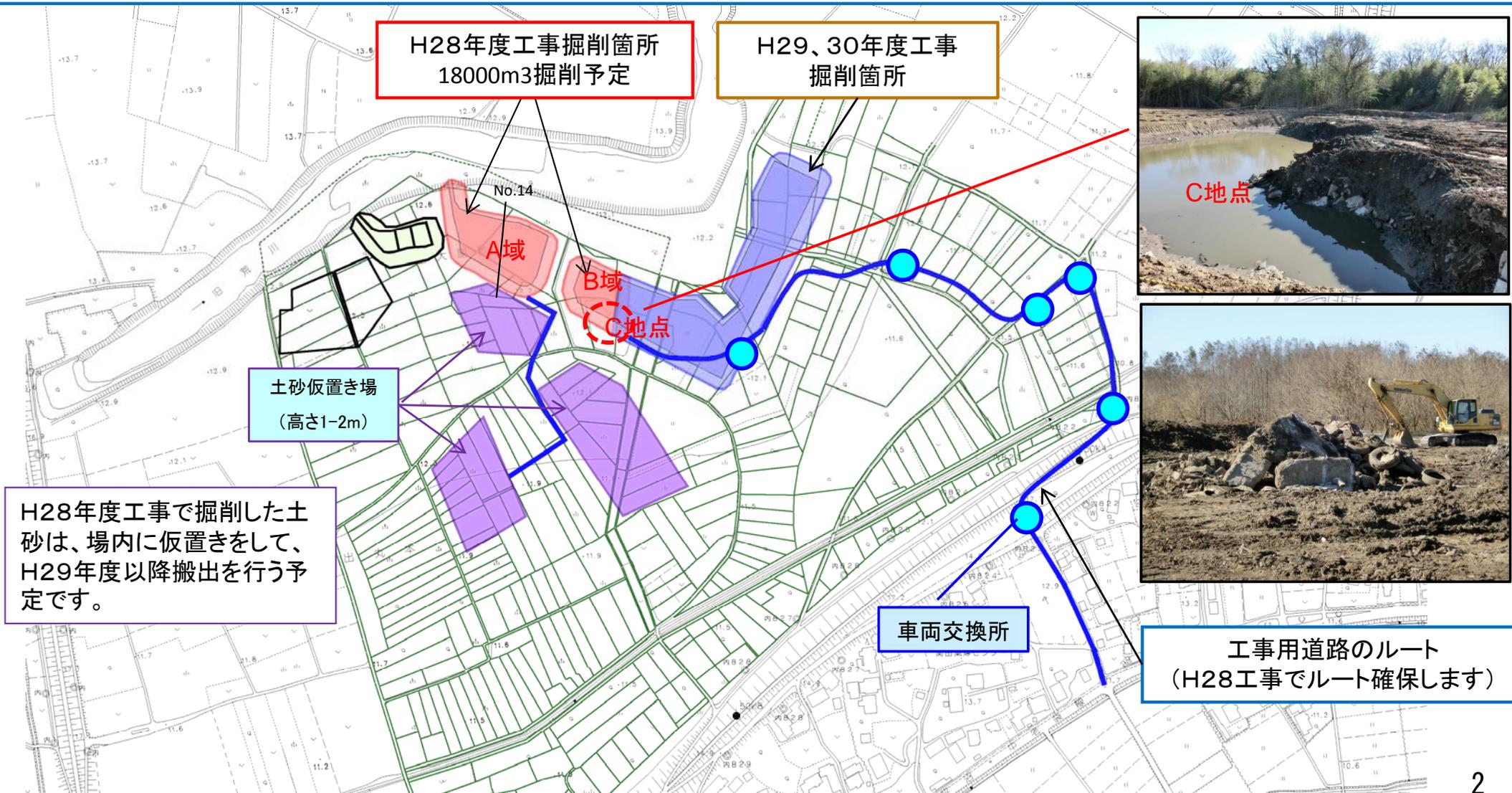


今年度工事箇所状況と今後の対応について

1.下池工事について ～工事の状況～

- 工事期間は、平成28年度から平成30年度の3カ年の予定です。（全掘削量 約4万 m^3 ）
- 平成28年度実施の工事では、赤色着色部分の土の掘削（18,000 m^3 ）と、掘削した土砂を搬出するダンプトラックが通行可能な道路（幅員4m）を作ります。掘削した土砂は紫色着色箇所へ仮置きをして、搬出は平成29年度工事で実施する予定です。
- 今年度の工事でタケ林の手前からコンクリートガラ等の廃棄物がでてきました。掘削費用の他、別途処分費がかかることとなります。
- 平成29、30年度の掘削箇所でも同様に掘削すると新たな処分費が必要になると予想されます。



1.下池工事について ～工事の状況～



- C地点のタケ林の手前の場所に、コンクリートガラ、ビニール等のゴミがうまっていました。
- 現在、工事は終了している、分別しない状態で、掘削土として土砂置き場に積み上げられています。

- 工事箇所の土壌の分析結果では、基準値を超えるものではありませんでした。
→ 分析結果を次ページに示します。



1. 下池工事について ~工事の状況~

土壌分析結果

ダイオキシン類濃度 [pg-TEQ/g]		
測定結果	基準値	
5.6	基準値	1000 以下
	要調査	250 以上

計量の対象	単位	測定値	定量下限値	基準値	測定方法		
カドミウム	mg/l	<0.001	0.001	0.01	日本工業規格 K0102 55		
全シアン	mg/l	<0.1	0.1	不検出	日本工業規格 K0102 38 (38.1.1の方法を除く)		
有機燐 ^{リン}	mg/l	<0.1	0.1	不検出	昭和49. 環告第64号付表1、 日本工業規格 K0102 31.1 のガスクロマトグラフ法以外のもの		
鉛	mg/l	0.004	0.001	0.01	日本工業規格 K0102 54		
六価クロム	mg/l	<0.005	0.005	0.05	日本工業規格 K0102 65.2		
砒(ひ)素	mg/l	<0.001	0.001	0.01	日本工業規格 K0102 61		
総水銀	mg/l	<0.0005	0.0005	0.0005	昭和46. 環告第59号付表1		
アルキル水銀	mg/l	<0.0005	0.0005	不検出	昭和46. 環告第59号付表2及び昭和49. 環告第64号付表3		
P C B	mg/l	<0.0005	0.0005	不検出	昭和46. 環告第59号付表3		
ジクロロメタン	mg/l	<0.002	0.002	0.02	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2		
四塩化炭素	mg/l	<0.0002	0.0002	0.002	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5		
1,2-ジクロロエタン	mg/l	<0.0004	0.0004	0.004	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.3.2		
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	<0.002	0.002	0.1	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2		
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	<0.004	0.004	0.04	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2		
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	<0.1	0.1	1	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5		
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	<0.0006	0.0006	0.006	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5		
トリクロロエチレン	mg/l	<0.003	0.003	0.03	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5		
テトラクロロエチレン	mg/l	<0.001	0.001	0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5		
1,3-ジクロロプロペン	mg/l	<0.0002	0.0002	0.002	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1		
チウラム	mg/l	<0.0006	0.0006	0.006	昭和46. 環告第59号付表4		
シマジン	mg/l	<0.0003	0.0003	0.003	昭和46. 環告第59号付表5第1、第2		
チオベンカルブ	mg/l	<0.002	0.002	0.02	昭和46. 環告第59号付表5第1、第2		
ベンゼン	mg/l	<0.001	0.001	0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2		
セレン	mg/l	<0.001	0.001	0.01	日本工業規格 K0102 67.2、67.3、67.4		
ふっ素	mg/l	0.32	0.08	0.8	日本工業規格 K0102 34.1、34.4、昭和46. 環告第59号付表6		
ほう素	mg/l	<0.1	0.1	1	日本工業規格 47.1、47.3、47.4		
農用地 田に限る	砒素 ^ビ	mg/kg	4.5	15	15	昭和50. 総令第31号第1条第3項及び第2条	含有 試験
	銅	mg/kg	15	125	125	昭和47. 総令第66号第1条第3項及び第2条	
検体の性状	形状	シルト質壤土		色	黒褐色	におい	無臭
備考	発生場所：埼玉県比企郡川島町上大屋敷地先 発生事業者名：株式会社 島村工業			工事名：H28 荒川太郎右衛門自然再生工事			

溶出試験

土壌含有量

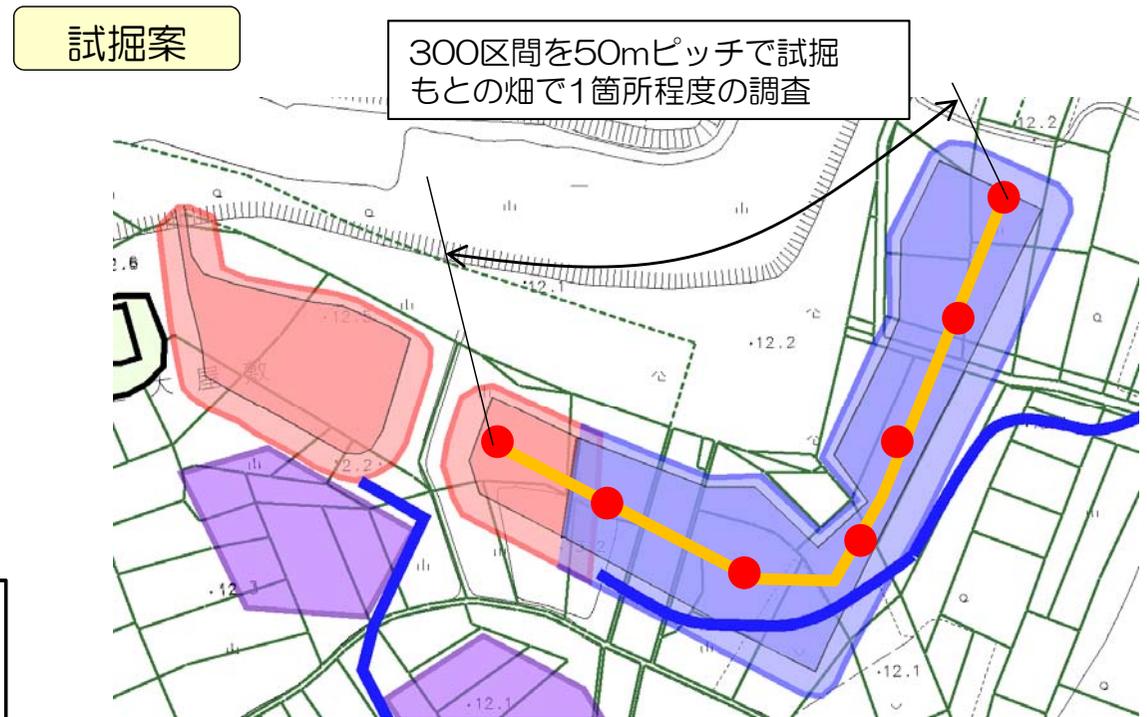
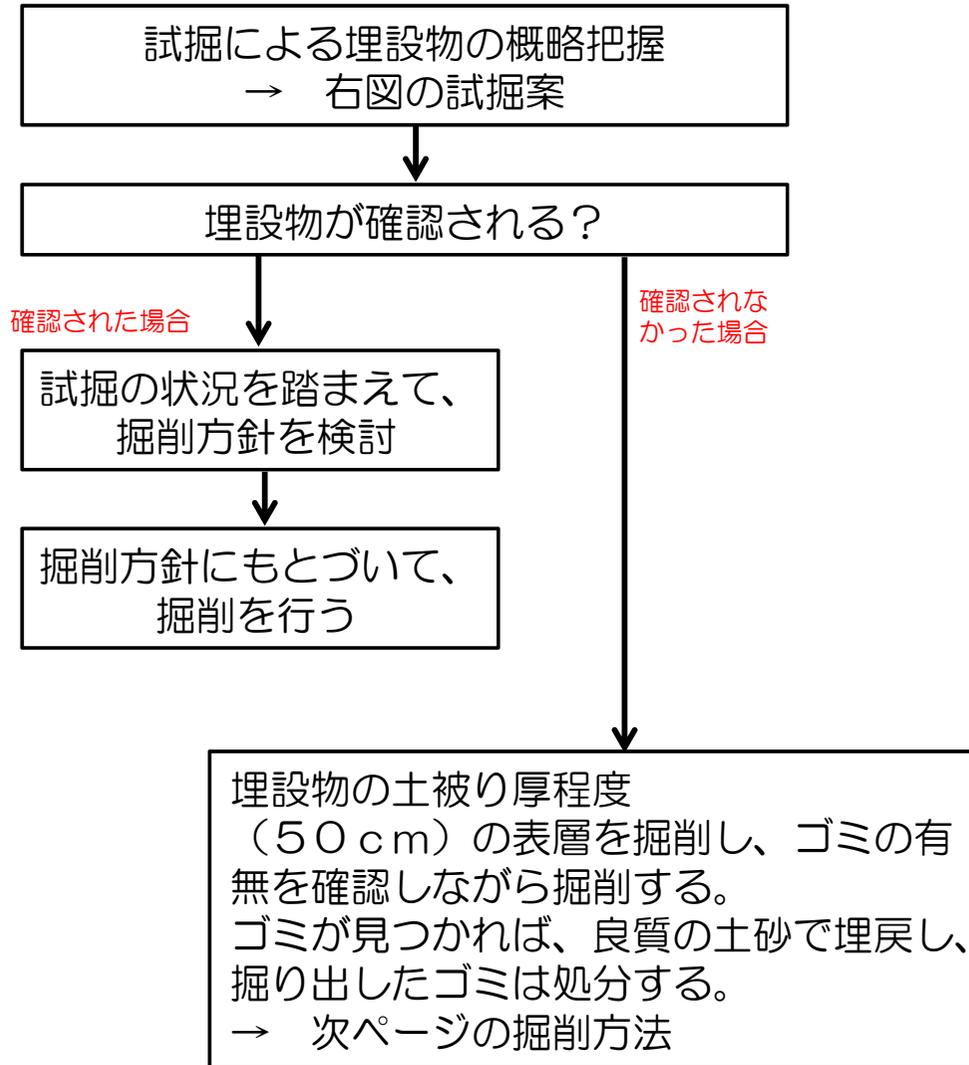
1. 下池工事について ～平成28年度工事～

- 平成28年度の工事は、掘削範囲から想定外のコンクリートガラ等の廃棄物がでてきたことから、予定どおりに完成することができません。
- 今年度の主たる工事は12月までとしており工期が少ないこと、ダンプによる土砂等の搬出は、近隣の住民への配慮から極力少なくすることとしており、掘り出した廃棄物を全量搬出することができません。
- そのため、今年度の工事は、これ以上の廃棄物を掘り出す掘削は行わず、土砂と分別が完了した廃棄物はブルーシートで覆う等の対策を行った上で、土砂の仮置場に存置し、次年度工事で処分する予定です。廃棄物混じり土砂の大半は、土砂と廃棄物の分別まで出来なかったため、次年度工事で分別を行い、処分する予定です。



2.下池工事について ～平成29、30年度工事～

- 平成29年度と30年度の工事の内容について、試掘を行い、廃棄物の埋設範囲を把握した上で、今後の掘削方針を検討する予定です。



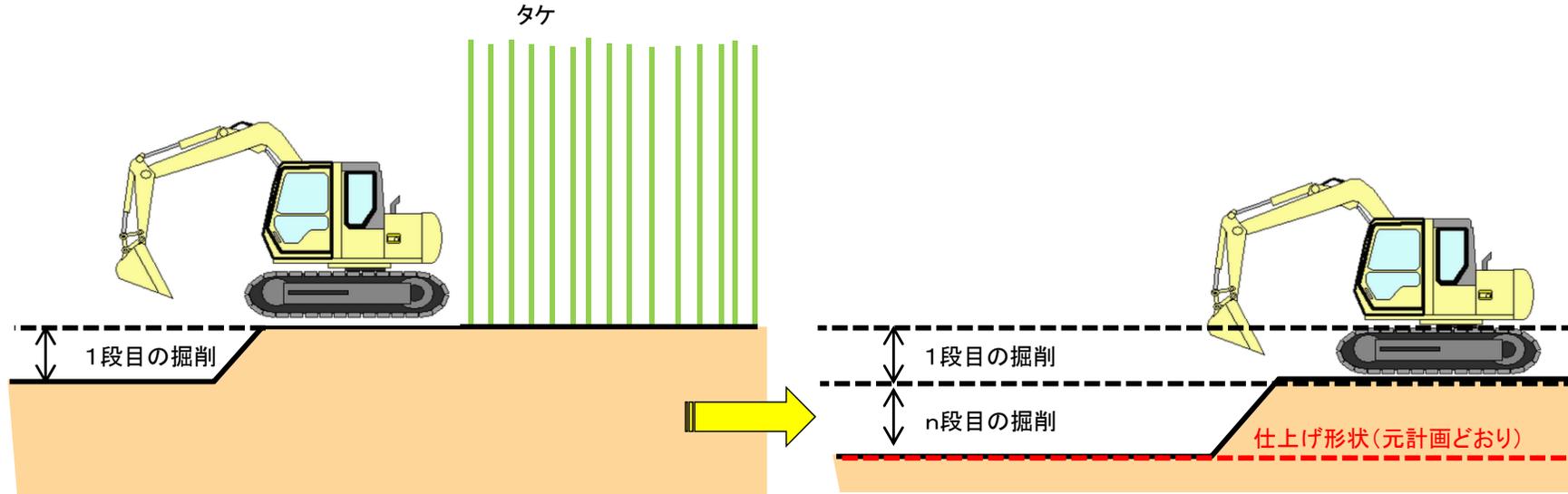
2.下池工事について ～平成29、30年度工事～

- 試掘でゴミが見つからなかった場合でも、深さを数段に分けた掘削を行い、仮にゴミが出た場合へも対応できるように掘削をすすめる。

掘削方法

ゴミが出なかった場合

1段目の掘削でゴミが出なかった場合は、そのまま2段目、3段目と掘り進める。
ゴミが出た場合は、その場所の掘削を中止する。



ゴミが出た場合

1段目の掘削でゴミが出た場合は、その場所での掘削を中止し、良質な掘削土で覆土する。
掘り出したゴミは処分する。
最終的には、ゴミのない区間のみ深く、ゴミのある区間は高くなり、凹凸が形成される仕上げとなる。

